

# 海風日記

さまざまな記憶を包含した貴重な収蔵品が  
日本郵船歴史博物館にあります。海風が日記を  
めくるように積み重ねた歴史を紹介します

## “「小樽丸(Ⅲ世)」スカツツル(舷窓)”



「小樽丸(Ⅲ世)」要目  
全長：85.29m  
総トン数：1,993.00トン  
最高速力：17.436ノット  
建造：三菱重工業(株)長崎造船所  
竣工：1948(昭和23)年4月19日



### 「小

樽丸(Ⅲ世)」は戦後間もない

1948(昭和23)年4月、三菱

重工業(株)長崎造船所にて竣工した貨客船

です。竣工後は船舶運営会が運航しました

が、1950(昭和25)年4月に海運民営還元<sup>※1</sup>

が実現した後はNYKの所有船となり、「小

樽」裏日本<sup>※2</sup>線に就航して活躍しました。

その後1953(昭和28)年7月に運輸省

航海訓練所(現、独立行政法人海技教育機構)に売

却され、船乗りを目指す学生のための練習

船「大成丸二世」として生まれ変わりました。

改装工事では船体中央部を約10m延長した

ほか、実習に必要な設備が追加されています。

30年以上の間、多くの実習生を乗せた

「大成丸二世」は1981(昭和56)年に引退し

ましたが、前身は「小樽丸(Ⅲ世)」だったこと

を忘れないようにと、新たにバトンを引き継

いだ「大成丸三世」の船内には「大成丸二世」

のスカツツルが解説文とともに展示され、学

生たちにその歴史を伝えていたそうです。

2014(平成26)年に「大成丸四世」に代替

わりした際、三世の船内にあったスカツツルは

取り外され、博物館に寄贈されました。長い

航海を終えて里帰りしたスカツツルは収蔵庫

で保管され、展示の機会を待っています。

※1 海運民営還元…戦中から戦後にかけて日本

商船は厳しい統制のもと国家使用されてい

たが、それら船舶の運航、管理が船主であ

る民間海運会社に戻されたこと

※2 裏日本…現在の日本海側

### 問い合わせ

### 日本郵船歴史博物館

■所在地：神奈川県横浜市中区海岸通3-9

■電話：045-211-1923

■開館時間：午前10時～午後5時

(最終入館：午後4時30分)

■休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

■入館料：一般400円、

シニア(65歳以上)・中高生250円、

小学生以下無料

(NYKグループ社員と同伴者1人まで、社員証の提示で入館無料)

■ウェブサイト：<https://museum.nyk.com>